

(21) 水道局

水道局 平成23年度予算要求及び査定の概要

予算要求方針

1 基本方針

本市の水道事業は、老朽施設の大規模更新や災害などに対する耐震強化とその財源確保、更には、料金収入の伸び悩みに対応した経営改革やサービス水準の向上など、様々な課題を抱えています。

このような事情から、現行料金を維持しつつ、より一層の経営基盤の強化を図るため、「中期経営計画(平成23～27年度)」を策定し、これまでに見直してきた既存事業の再構築を行うとともに、特に総合振興計画の中で、水道局の主要事業として位置づけている「上水道施設整備事業」を着実に推進します。

2 主な取組

重要なライフラインとしての効率的かつ安定的な給水の確保を図るため、老朽化した水道管や上水道の基幹施設である浄水場及び配水場の更新・改良、耐震化を計画的に行います。

特に、水道施設整備事業のうち、老朽管更新事業については、昭和40年代に大量に布設された配水管が、今後、法定耐用年数を迎えることから、財政状況とのバランスを勘案しつつ、重点的に取り組んでいきます。

・水道施設整備事業

- | | |
|----------------|--------------|
| (1) 地下水源整備事業 | (4) 配水支管整備事業 |
| (2) 拠点施設整備事業 | (5) 老朽管更新事業 |
| (3) 配水ブロック整備事業 | (6) 耐震化事業 |

3 行財政改革への取組

今後、水需要の増加が期待できない一方で、施設整備事業には多額の財政需要が見込まれることから、中長期的な財政収支見通しに基づく計画的な施設整備を推進していきます。

特に、事業の財政基盤を長期的に安定させるため、借入金である企業債の残高縮減に努め将来の金利負担の軽減を図ることで、更なる事業経営の健全化に努めます。

また、限りある水資源の有効活用を図るため、漏水事故の未然防止など、引き続き、有効率向上対策事業に取り組んでいきます。

予算要求額及び査定結果

< 水道局合計 >

(単位：千円)

平成22年度 当初予算額	平成23年度予算				
	予算要求額	水道事業管理者査定		市長査定	
		予算要求額	査定額	予算要求額	査定額
44,402,180	44,925,425	44,925,425	44,436,901	44,925,425	44,436,901

< 水道局の主な事業 >

総合振興計画新実施計画事業・しあわせ倍増プラン2009事業

(単位：千円)

No	事業名 事業の概要		所 属	平成22年度 当初予算	平成23年度 要求額	水道事業 管理者査定		査定理由
	市長査定	市長査定						
1	公用車の次世代自動車化事業		管財課	1,777	10,988	10,988	10,988	内容及び積算を確認し、適正であると認められるため要求のとおりとしました。
	総振新実施計画	1104	交通環境対策事業					
	しあわせ倍増プラン	44	「E-KIZUNA Project」等の実施により、次世代自動車の普及を促進します。					
	水道局の公用自動車について買い替えの際に原則として次世代自動車を率先して導入します。					10,988		水道事業管理者査定の内容及び理由について、適正であると認められるため、水道事業管理者原案のとおりとしました。
2	上水道施設整備事業		水道計画課	7,761,669	7,485,229	7,485,229	7,485,229	内容及び積算を確認し、適正であると認められるため要求のとおりとしました。
	総振新実施計画	6301	上水道施設整備事業					
	しあわせ倍増プラン	-	-					
	安定的な給水の確保を図るため、老朽化した水道管や上水道の基幹施設である浄水場・配水場の更新、改良及び耐震化を主体とした施設整備を計画的に行います。					7,485,229		水道事業管理者査定の内容及び理由について、適正であると認められるため、水道事業管理者原案のとおりとしました。
合計				7,763,446	7,496,217	7,496,217	7,496,217	-

水道事業会計については、地方公営企業法の規定により水道事業管理者を設置し、水道事業管理者が予算原案を作成しています。

平成23年度予算要求事業調書

所管 [局(区)・部]	水道局 業務部
[課/所/室]	管財課

水-01

1 会計	企業会計 (会計名) 水道事業会計
2 予算の事務事業名	(コード) - (名称) 公用車の次世代自動車化事業
3 事業名	公用車の次世代自動車化事業
4 事業の区分/分野	新規 拡大 10周年 区役所 健康長寿 子育て ブランド
5 総合振興計画新実施計画事業	該当 (コード) 1104 (事業名) 交通環境対策事業
6 しあわせ倍増プラン	該当 (番号) 44 (事業名) 「E-KIZUNA Project」等の実施により、次世代自動車の普及を促進します。
7 行財政改革推進プラン	該当なし
8 市民の声、現場の声	次世代自動車導入により二酸化炭素の削減を目指します。
9 事業概要	(概要) 水道局の公用自動車について買い替えの際に原則として次世代自動車を率先して導入します。 平成23～27年度事業費 73,161千円
	(根拠法令等)

(1)現状と課題	
いま何が問題となっているのか。 (解決したい問題を簡潔に)	地球温暖化の一つの原因として車両からの二酸化炭素の排出が問題となっています。
問題解決の方針	公用車の更新時に次世代自動車の導入により二酸化炭素の排出を削減します。
問題解決の道すじ (目標年次も記入)	<ul style="list-style-type: none"> 次世代自動車導入率 51%(平成23年度) 次世代自動車導入率 76%(平成24年度) 次世代自動車導入率 100%(平成25年度)
求める効果、目標指標	次世代自動車導入により地球温暖化の原因となる二酸化炭素を削減する効果があります。

(2)市全体の事業展開と本事業の位置づけ	(3)事業を展開していく上での課題
<p style="text-align: center;">中心となる事業、法令又は方針</p> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 公用車の次世代自動車化事業 / 次世代自動車普及推進室 / H21～ </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> 公用車の次世代自動車化事業 / 水道局管財課 / H22～ </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> 公用車の次世代自動車化事業 / 水道局管財課 / H22～ </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> 公用車の次世代自動車化事業 / 各予算課 / H22～ </div> </div>	市民生活 関連事業 次世代自動車の車種が少ない。
(5)本事業の事業内容	(4)他市事例(県内市町村、政令市等)

平成22年度以前	公用車の低公害車化
平成23年度	公用車の次世代自動車化
平成24年度以降 (目標年次も記入)	公用車の次世代自動車化(H25までに)

平成23年度予算要求事業調書

所管 [局(区)・部]	水道局 給水部
[課/所/室]	水道計画課

水-02

1 会計	企業会計 (会計名) 水道事業会計								
2 予算の事務事業名	(コード) (名称) 上水道施設整備事業								
3 事業名	上水道施設整備事業								
4 事業の区分/分野	新規 拡大 10周年 区役所 健康長寿 子育て ブランド								
5 総合振興計画新実施計画事業	該当 (コード) 6301 (事業名) 上水道施設整備事業								
6 しあわせ倍増プラン	該当なし								
7 行財政改革推進プラン	該当 (番号) 131 148 (事業名) 水道事業の健全経営 (財)埼玉水道サービス公社								
8 市民の声、現場の声	・老朽管の取替え、耐震化は必要。企業債残高を減らし、内部留保資金を増やし、健全経営をしてほしい (公開審議における市民委員)								
9 事業概要	<table border="1"> <tr> <td>(概要)</td> <td>安定的な給水の確保を図るため、老朽化した水道管や上水道の基幹施設である浄水場・配水場の更新、改良及び耐震化を主体とした施設整備を計画的に行います。</td> <td>平成23～27年度事業費</td> <td>42,351,264千円</td> </tr> <tr> <td>(根拠法令等)</td> <td>・水道法</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	(概要)	安定的な給水の確保を図るため、老朽化した水道管や上水道の基幹施設である浄水場・配水場の更新、改良及び耐震化を主体とした施設整備を計画的に行います。	平成23～27年度事業費	42,351,264千円	(根拠法令等)	・水道法		
(概要)	安定的な給水の確保を図るため、老朽化した水道管や上水道の基幹施設である浄水場・配水場の更新、改良及び耐震化を主体とした施設整備を計画的に行います。	平成23～27年度事業費	42,351,264千円						
(根拠法令等)	・水道法								

(1)現状と課題	
いま何が問題となっているのか。(解決したい問題を簡潔に)	<p>本市の水道は、給水開始から70年以上が経過し、老朽化した配水管や既設浄水・配水場の改良、更新を計画的に推進する必要がある、また、施設の耐震化等危機管理対策の充実、給水区域の配水ブロック化の推進等による効率的で安定した給水システムの構築などが課題となっています。</p> <p><左の根拠指標>(別添可・様式任意) *下記目標指標のとおり</p>
問題解決の方針	水道事業長期構想における将来の目標及び事業の方向性を踏まえた上で、「いつでも信頼される水道」を実現するための施策として、給水区域の配水ブロック化や計画的な水道施設の改良・更新を進めます。
問題解決の道すじ(目標年次も記入)	平成23年度から27年度までを期間とする「次期中期経営計画」にあわせた「上水道施設整備事業(第二次)」を計画的に進めていきます。(上水道施設整備事業の施策) <ul style="list-style-type: none"> ・地下水源整備事業 ・拠点施設整備事業 ・配水ブロック整備事業 ・配水支管整備事業 ・老朽管更新事業 ・耐震化事業
求める効果、目標指標	<ul style="list-style-type: none"> ・効率的で安定した給水を確保するため、給水区域の新たな配水ブロック化を推進します。 ・老朽化した施設の統廃合を含め、効果的かつ効率的な改良・更新を計画的に推進します。 ・施設の維持管理を強化し、事故の未然防止及び施設の延命化が図れます。 <p><目標指標>(別添可・様式任意) <ul style="list-style-type: none"> ・更新率1%で老朽管更新を推進しながら、管路耐震化率42%を目指します。(23年度～27年度) </p>

(2)市全体の事業展開と本事業の位置づけ	(3)事業を展開していく上での課題
	<p>市民生活 水道は、市民生活を支える生活基盤として、今後もより身近で使いやすく分かりやすい水道となるよう、利用者の視点に立った質の高いサービスを提供する必要があります。</p> <p>関連事業 施設整備の効率的・効果的な実施のため、重点的施策と位置付けられている地下水源整備、拠点施設整備、配水ブロック整備、施設耐震化並びに有効率向上のための各事業についても、緊密に連携を図りつつ取り組んでいく必要があります。</p>
(5)本事業の事業内容	(4)他市事例(県内市町村、政令市等) 水道ビジョン(厚生労働省)

平成22年度以前	平成18年度から22年度までを期間とした「中期経営計画」にあわせ、「上水道施設整備事業(第一次)」として、老朽管の更新工事を中心とした水道施設の整備や浄水・配水場の改良・更新事業などを重点的に行いました。
平成23年度	水道事業長期構想の実現を目指し、安全で良質な水道水を安定して供給し続けるために、平成23年度から27年度までを期間とした「次期中期経営計画」にあわせ、「上水道施設整備事業(第二次)」として、引き続き、老朽施設の更新と再構築・震災等に対する基幹施設の耐震化や有効率向上対策の充実強化など、施設水準のレベルアップと給水サービスの向上を図ります。
平成24年度以降(目標年次も記入)	中期経営計画に基づき、財政状況とバランスのとれた施設整備を計画的に推進していきます。

予算の事務事業名	上水道施設整備事業
事業名	上水道施設整備事業

10 事業計画・資金計画・平成23年度予算要求内訳								(単位:千円)
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28~	合計
事業計画	上水道施設整備事業	上水道施設整備事業	上水道施設整備事業	上水道施設整備事業	上水道施設整備事業	上水道施設整備事業		
事業費(当初予算)	7,761,669	7,485,229	8,823,024	8,472,284	8,986,590	8,584,137	7,268,044	49,619,308
財源内訳	国庫支出金	81,000	70,000	20,000	0	0	0	90,000
	市債	1,181,000	1,251,000	2,346,000	2,389,000	2,379,000	2,415,000	13,195,000
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	6,499,669	6,164,229	6,457,024	6,083,284	6,607,590	6,169,137	36,334,308

一般財源の欄は、特別会計にあっては繰入金、企業会計にあっては損益勘定留保資金等に、それぞれ読み替える。

平成23年度予算要求内訳						
<事業費>						
業務内容	説明	H22当初予算	H23要求額	水道事業管理者査定	市長査定	
地下水源整備事業	老朽化した深井戸の改良、更新を行い、地下水源の保全と有効活用を図ります。	233,982	296,954	296,954	296,954	
拠点施設整備事業	ポンプや電気設備など、老朽化した配水施設の効果的かつ効率的な改良・更新を計画的に推進します。	1,182,159	814,524	814,524	814,524	
配水ブロック整備事業	効率的な配水制御とともに、水質管理やバックアップ機能の強化を図るため、給水区域の配水ブロック化を推進します。	379,347	264,853	264,853	264,853	
配水支管整備事業	道路内における輻そう給水管の解消など、安定給水のための配水支管整備を推進します。	1,314,087	1,176,473	1,176,473	1,176,473	
老朽管更新事業	老朽管の計画的な布設替えにより、漏水や事故防止に努め、安定した給水を図ります。	4,289,679	4,543,283	4,543,283	4,543,283	
耐震化事業	水道の基幹施設である浄・配水場施設の耐震補強や水道管の耐震化を進めます。	362,415	389,142	389,142	389,142	
計 A		7,761,669	7,485,229	7,485,229	7,485,229	
<特定財源>						
内訳	説明	H22当初予算	H23要求額	水道事業管理者査定	市長査定	
国庫支出金	ライフライン機能強化等事業に伴う交付金(貯留施設、重要給水施設配水管、基幹水道構造物の耐震化事業など) ・補助基本額210,000千円 補助率1/3	81,000	70,000	70,000	70,000	
市債	老朽管対策事業に要する資金に充てるための借入金 ・水道事業債1,251,000千円 充当率32.1%	1,181,000	1,251,000	1,251,000	1,251,000	
計 B		1,262,000	1,321,000	1,321,000	1,321,000	
<一般財源>						
		H22当初予算	H23要求額	水道事業管理者査定	市長査定	
A - B		6,499,669	6,164,229	6,164,229	6,164,229	

水道事業管理者査定理由	要求どおり	内容及び積算を確認し、適正であると認められるため要求のとおりとしました。
市長査定理由	要求どおり	水道事業管理者査定の内容及び理由について、適正であると認められるため、水道事業管理者原案のとおりとしました。

